

徳島県立南部防災館指定管理候補者選定委員会 議事概要

問 コロナが5類になって、また徳島県、特に南部は高齢者の割合が増えている中でこれから先に向けて、これまでと違った取り組みとか考えていることはあるか。

答 従来、町内の高齢者の貴重な災害体験を伝える活動も行ってきたが、コロナで今までやっていた活動が出来なかったこともあり、そうした活動が町内でも見えなくなってきた。今後は、そうした活動は大事なことだと思うので、新しい取り組みも考えるが、まずは、3年間出来なかった高齢者の災害に対する経験とか知識を、青少年たちに伝える活動に取り組んでいきたいと考えている。

問 災害時、ペットの問題がよく取り沙汰されている。この場所はペットに対して何か対策をとっているのか。また、そういう訓練をされたことがあるのか、今後どう推進していくのか。

答 ペットについては、ペット用の備蓄食料やゲージ、また、避難する場所の確保を考えていて、今年度、改定を行っている地域防災計画に盛り込んでいきたいと考えている。

問 南部防災館の目的をどう考えているか。

答 南部圏域における防災意識の向上と啓発、また、南部圏域の防災拠点と考えている。

問 啓発において、どんな所に力点を置くのか。

答 小中学生を含めた住民に対する防災教育を行うことが大きな点と考えている。